

桐生繊維大学 開校

9月15日(火)に「桐生繊維大学」の開校式を行いました。

同大学は、「繊維産地・桐生」の活性化に向けて、生産から販売にわたる繊維産業の幅広い知識を「習得すること」及び産地の次代を担う人材を「育成すること」を目的に平成7年よりスタートし、修了者は既に486名を数えます。26期目となる今年度は13名が参加し、来年2月までの約半年間、講義（以下のとおり）が開催されます。

【今後実施する予定の講義は以下のとおり】

オリエンテーション／最近の繊維産業の動向／産地の構成と特色／化学繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）／伝統織物と組織について／燃系について／天然繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）／染色の基本・染色の実習①②／堅牢度試験 実習／加工技術／複合繊維について／品質管理／繊維工学の基礎と Topics①②／織機・機仕掛けについて／マーケティング①②③／ジャパノクリエーション展示会視察／桐生地域内工場視察



（写真は「開校式」の開催風景）

桐生テキスタイルプロモーションショー開催事業(TPS) スタート



（写真は「コンセプト発表会」の開催風景）

9月23日(水)に TPS コンセプト発表会が開催され、総合プロデューサーの福田敏雄氏（エフプラスカンパニー代表）より今回のコンセプトテーマが発表されました。

世の中が様変わりし、新しい価値観、新しい思考で新しいシーズンを迎えます。今回のテーマである「エンパシー」は、他者との感情を共有すること、そして、この共感性によって新たな時代を構築しようとする動きです。観察力、表現力、想像力によって理解する力を生み出し、共感を得るものづくりを目指します。

なお、TPS 東京展は、令和3年3月10日(水)、11日(木)東京青山テピアホールにて開催予定です。

「世界の民族衣装展」開催



9月15日(火)から10月18日(日)までの間、当センターで収蔵管理している資料（世界の民族衣装）の中から、「動物文様」と題して展示公開しています。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。（休館日の月曜日を除く、午前10時から午後4時まで開催）

「インキュベーションオフィス入居審査会」開催

9月8日（火）、桐生市インキュベーションオフィスの入居者審査会を行い、以下の2件の入居者が決定しました。

- ①株式会社 F I T 代表取締役 登坂 氏（一般機械器具製造業）
- ②合同会社 Creation Allows 代表社員 中山 氏（教育複合サービス業）

なお、同オフィスは現在、入居者を募集しております。創業者や経営革新を目指す中小企業に対し、

Aタイプ：約20㎡ 30,000円（税抜）

Bタイプ：約10㎡ 10,000円（税抜）

にてオフィス用ブースを提供しております。ブース内は、デスク、イス、文書棚等が整備され、24時間利用可能です。また、産学官連携機関による技術相談や、インキュベーションマネージャーによる事業サポート等、幅広いソフト支援も受けられます。

◇お問合せ先：地場産センター振興課 TEL（46）1011

「2020 じばさん冬の市」中止について



（写真は昨年「2019 じばさん冬の市」の開催風景）

当センターでは、今冬に開催予定でありました「2020 じばさん冬の市」の中止を決定致しました。

「じばさん冬の市」は、毎年12月に開催し、多くの方々に桐生地域産品等のPRを行ってまいりました。（昨年「2019 冬の市」来場者数＝5,900名以上）

しかし今冬は、新型コロナウイルス感染防止策として、入場制限や、密集・密接状態を避けることが難しいため、ご来場者並びにご出展者の安全を考慮して、イベント中止の判断を致しました。

○主な行事記録

8月5日	水	ジェトロ群馬「海外ブランド推進委員会」(職員出席)	桐生織物会館
8月18日	火	桐生織物(協)テキスタイル部会「定例会」(職員出席)	桐生織物協同組合
9月3日	木	食品衛生責任者・再講習会(職員出席)	桐生商工会議所
9月8日	火	インキュベーションオフィス入居審査委員会	地場産センター
9月15日	火	世界の民族衣装展「動物文様」開催(～10/18)	地場産センター
		桐生繊維大学 開校式およびオリエンテーション	地場産センター
9月23日	水	TPS コンセプト発表会	地場産センター
		桐生繊維大学「最近の繊維産業の動向」 講師：群馬県繊維工業試験場 場長 石井克明 氏	地場産センター
9月29日	火	桐生繊維大学「産地の構成と特色」講師：業界関係者	地場産センター